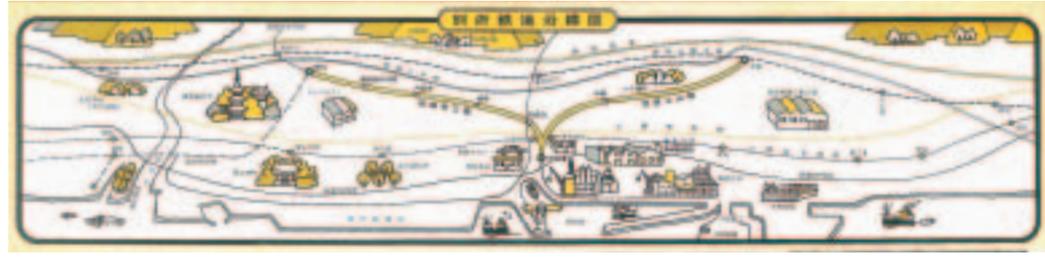


べふてつどうたんぼう 別府鉄道 探訪

別府鉄道には、土山線と野口線の2つの路線がありました。今回は、その2つの路線についてお話しします。



▲昭和37年の沿線図です

先月号で紹介したはがきを見て気付いた方もおられるかもしれませんが、当時、加古川駅からは野口駅を通じて高砂港駅を結ぶ国鉄高砂線（旧播州鉄道）が通っていました。高砂港は当時から工業地帯だったので、国鉄高砂線は主にその工場で作られる製品を加古川駅まで運ぶための貨物輸送を主として運行していました。

別府鉄道も土山線が開通する2年前（大正10年）に、野口ー別府港をつなぐ野口線を開通させており、野口駅からは国鉄高砂線を利用して加古川駅までの貨物の輸送を行っていました。しかし、野口ー加古川間の貨物輸送を委託するには余分な経費がかかることになりました。その分の経費節減と貨物の完全自主運行を目指して、土山ー別府港間を結ぶ土山線が作られたのです。

これ以降、多木化学（株）の工場で作られた肥料を運ぶ貨物輸送は土山線が主体となり、野口線は別府と加古川をつなぐ地域住民の足となるため旅客輸送へと柔軟にその役割を替えていきました。

余談になりますが、国鉄高砂線は、その後、貨物輸送は大型トラックに、旅客輸送はバスへと移り変わり、昭和59年12月を最後に廃線となりました。

鉄道まの知識

【1067メートル】

何を表す数字が分かりますか？ 別府鉄道は2本のレールの上を走っていましたが、実はこのレールの幅（軌間）が1067メートルでした。現在のJR線も多くがこの軌間を採用しています。別府鉄道は、土山駅などの連結駅において貨車の入れ換えの手間のみで荷物を運ぶために同じ軌間を使っていたのです。

*このコーナーでは皆さまからの「別府鉄道の思い出」を募集しています。（郷土資料館）

広げよう 花と緑の輪

播磨町花と緑の協会



花といっしょに暮らす素敵な毎日

野添にお住まいの吉本榮策さんにお話を伺いました。

ガーデニング歴は？

今年で4年目です。

植物の魅力は？

花は生き物であり、大切に手を加えればきちんと答えてくれます。だから、水遣りや花がら摘みなど手を抜くことはできません。

思いつに残る出来事は？

道を歩いているたくさんの方に、四季折々のお花を見て楽しんでいただいています。声をかけていただくで一層やる気が起こります。

失敗談は？

水かけの調整が難しく、風当たりも強い場所なので、特に冬の間に花を枯らすことが多かったです。

グループ活動にも参加されているようですが…

「播磨町花と緑の協会」と、「中央公民館 園芸友の会」に参加し、同好の方たちいろいろな教えていただきながら勉強しています。

これから挑戦してみたいことは？

種から育てる花苗作りに挑戦したいです。

▶ 問い合わせ 都市計画課
☎0794(35)2366

広報はりま | 発行/播磨町役場 〒675-0182 (個別番号) 兵庫県加古郡播磨町東本庄1丁目5番30号 TEL 0794 (35) 0355 FAX 0794 (35) 0609 編集/企画調整課 印刷/明光印刷株式会社



町の人口 5月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)
34,274人(-20人) 男...16,755人(-13人) 世帯数...12,755(+27)
女...17,519人(-7人)